

## 2.14. コミュニケーション学講座

### 2.14.1. 講座の概要

#### (a) 講座の簡単な説明, キーワード

本講座では, 研究テーマとして, インターネットを利用し, 実際に使えるようなコミュニケーションシステムやそのセキュリティ技術について研究開発しています.

主に WWW を利用したコミュニケーションシステムや, 必要なセキュリティ機能の開発や運用を通して, 現在のインターネット技術へのフィードバックを行い, その発展に貢献していきたいと考えています. また, 社会を支える重要な技術がどうあるべきかを検討することで, 世界中の人々の生活を, さまざまな側面から支援することができると考えています.

運営方針としては, 学生の自由な発想を大切に, 自主性を重んじています. 自分で何かを始めたいと思っている人は, 是非この研究室で存分に試してみてください. また, 常に問題意識を持ち, 自主的に課題を見つけ, それを開発する能力を身に付ける, 課題達成型の人材育成を心がけています.

研究成果は, 国内外の研究会や国際会議に積極的に参加し, 対外発表することを重視しています. 外部から評価をうけることで, 研究内容に質の向上を目指します.

キーワード: インターネット, 安心と安全, トラスト, セキュリティ, インターネット放送, コミュニケーション支援

#### (b) 年度目標

インターネット上のインフォーマルコミュニケーションサービスを提供するシステムについて, 必要とされるネットワーク技術, 協調支援, サービス提供のビジネスモデルおよびセキュリティ機能の研究を行う. また, それらについて, 「安心やトラスト」との関連も考察する. 具体的な内容としては以下の研究課題である.

1. WWW 上の戸口通信の開発と運用
2. 宛先に集合演算を行えるメールシステムの開発研究
3. インターネット放送の研究
4. インターネット上のプリンタサーフの研究
5. 安心とトラストに関する研究
6. 不快なインタフェースに関する研究

1 は, インターネット上に戸口のメタファを利用した通信システムを構築し運用実験を行う研究である. 2 は宛先に集合演算を施せるメールシステムの開発研究である. 3 は様々な形のインターネット放送について実践的に研究をする. 4 は, インターネット上での紙媒体と電子媒体の融合によるコミュニケーション基盤の構築に関する研究である. 5 は, 安心感やトラストの主観的評価について考察する. 6 は, 危険を回避するための不快なインタフェースの研究である.

#### (c) 講座構成教員名

村山優子, 藤原康宏, 齊藤義仰

#### (d) 研究テーマ

- WWW 上の戸口通信の開発と運用
- インターネット放送の研究
- インターネット上のプリンタサーフの研究

- 宛先に集合演算を行うメールシステムの開発研究
- 安心とトラストに関する研究
- 不快なインタフェース

(e) 在籍学生数

博士(前期) : 4 名, 博士(後期) : 1 名, 卒研究生 : 7 名